

まちづくり意見交換会

プログラム

1. 開会・町民憲章唱和
2. 町長あいさつ
3. 構想（案）の説明
4. 質疑応答
5. 意見交換
6. 閉会

国では、「Society5.0」社会の実現により課題に対応



竜王町の課題

①人口減少

日本創生会議・人口減少問題検討分科会の推計(H26)

消滅可能性自治体
全国896自治体

滋賀県内では
竜王町、甲良町、多賀町

②自然災害

台風による水害の発生

近年の竜王町では

- ・H25 台風18号
- ・H29 台風21号



③公共施設の老朽化

竜王小学校や竜王幼稚園をはじめ、公共施設の老朽化が進行
社会の変化によるニーズの多様化



これまでの取組

- ・ 企業誘致
（滋賀竜王工業団地 など）
- ・ 民間活用による集合住宅建設
- ・ 中学卒業まで医療費無償化
- ・ 教育の充実
- ・ 国保診療所の建替
- ・ 日野川改修、国道 8 号整備促進
- ・ 道の駅施設整備



子どもたちの未来へ贈る 竜王2030プロジェクト

～子どもと暮らす喜びを実感できるまちづくり～

竜王町版コンパクトシティ化の考え方

【中心核】

- ・教育施設等の集約
- ・交流空間の整備
- ・民間施設の誘導
- ・居住基盤の整備

ネットワーク

- ・公共交通網の整備
- ・道路網の整備
- ・情報ネットワークの整備

【集落・団地】

- ・自治会機能の維持
- ・若者世代の定住
- ・高齢世帯の安心
- ・同居や近居

- ・魅力あるまちづくり
- ・町全体のバランスの取れた発展
- ・財政状況を精査、計画的に推進

H29 重点取組項目について庁内プロジェクトチーム(20)を設置

H30 コンパクトシティ化検討町民ワーキング・懇話会を設置

町民ワーキング

第1回(H30.9.7)

第2回(H30.10.30)

自治連研修会(H30.11.27)

第3回(H30.11.29)



懇話会

第1回(H30.9.28)

第2回(H30.11.7)

第3回(H30.12.19)



第4回／町民ワーキングと懇話会の合同開催(H31.2.18)

子どもの笑顔があふれ、多様な交流を育む中心核

- ⑤健康づくりのサポート (歩道等)
- ⑦シンボルロード化 (拡幅、緑化等)



- ⑥歩行者・自転車の移動環境を重視



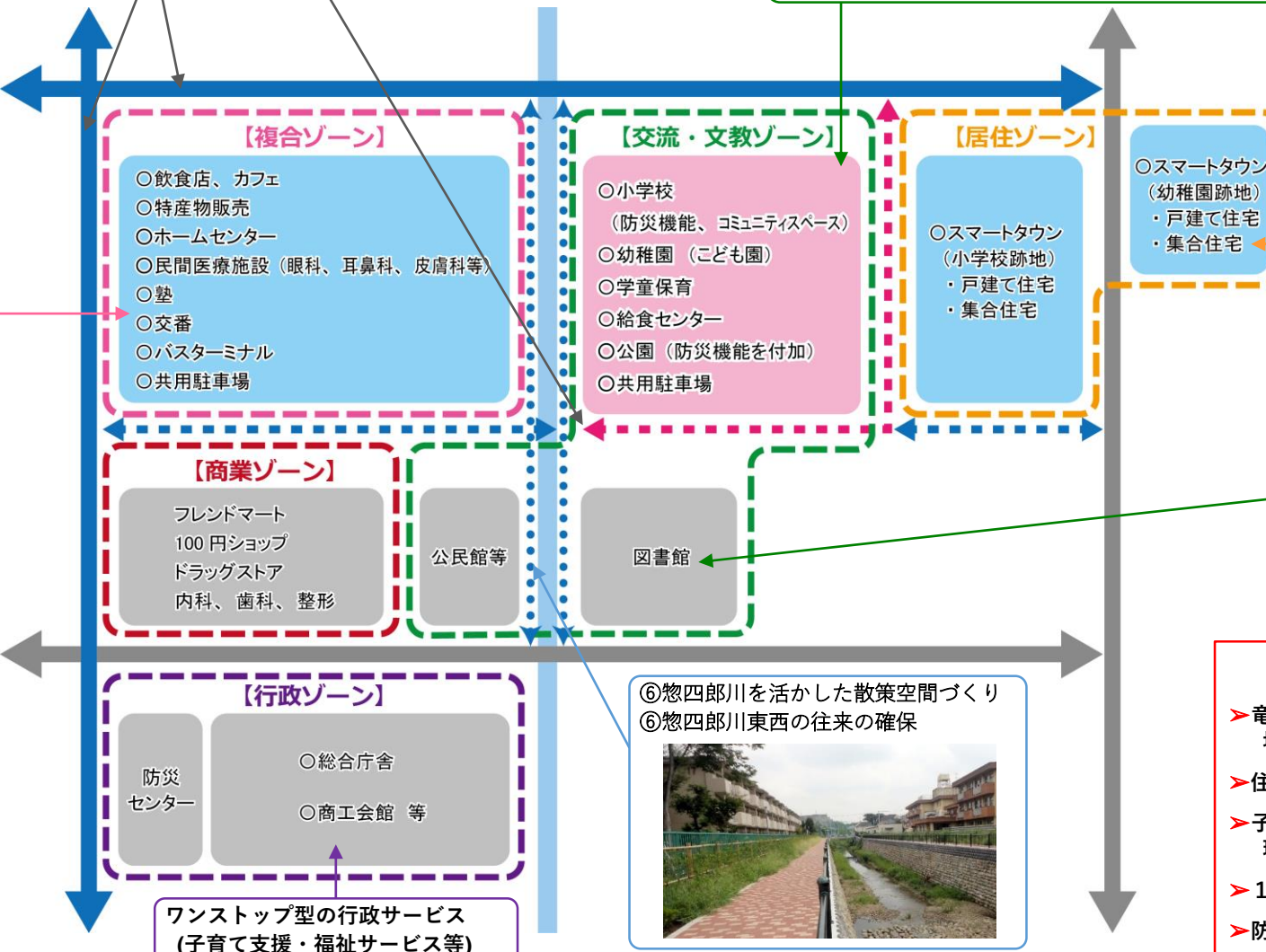
- ①教育関連施設の集約
- ②安全、防災拠点
- ②Wi-Fi等の情報通信網
- ③多様な世代間の交流
- ④子育てサービスの向上
- ⑤様々な活動機会の創出



- ③ゆっくりくつろげるお店
- ④様々な人が集まれる場所
- ⑥交通の結節拠点化
- ⑦農業を中心に竜王の特産を活かしたお店



- 既存
- 第1期 (リーディングプロジェクト)
- 第2期



- ⑧若者世代や子育て世代を中心とした定住促進
- ⑧歩いて生活できる利便性の高い住宅地
- ⑧最新の技術を取り入れたエコな環境



- 【中心核全体について】**
- > 竜王の「顔」となる魅力的な場所、1日中いられる場所、常に何かに利用されている場所にする
 - > 住民の暮らしに便利な機能を集積する
 - > 子どもから高齢者まで、みんながアクセスしやすい環境をつくる
 - > 1つの施設に複数の機能を持たせて効率化する
 - > 防災対策 (特に水害・浸水対策)



- ⑥惣四郎川を活かした散策空間づくり
- ⑥惣四郎川東西の往来の確保

集落や団地の機能やコミュニティの維持

目標

- 目標① 生まれ育った地域で住み続けられる環境づくり
- 目標② 地域特性を活かしたコミュニティの再生
- 目標③ 持続可能な自治会への支援

協働

自治会活動を維持するために

- 時代に相応しい自治会活動の見直し
- 女性の自治会役員登用
- 自治会行事への親子参加、自治会活動への関心を高める
- 自治会行事の共同実施

若者・若い世代が定住するために

- 地域特性を活かした生活環境の形成
- 自慢できる地域の宝・魅力の創出
- U・Iターンしたくなる魅力づくり
- 地元企業のPRと地元優先雇用の働きかけ

高齢世帯が安心して暮らし続けるために

- 健康寿命の延伸、高齢者の経験等の活用
- 地域見守り支援の充実
- 空き家を利活用した居場所づくり
- 集落営農法人の広域化、都市部からの新規就農者の誘導

二世帯、三世帯が同居・近居できるために

- 豊かな子育て環境のアピール
- 地域における子育て支援の充実
- 空き家、空き地の利活用の促進
- 無秩序な開発を抑制しつつ、住み続けられる制度づくり

取組例

➤地域支え合いしくみづくりモデル事業の普及等

➤職住近接、転入誘導策や子育て支援策の充実等

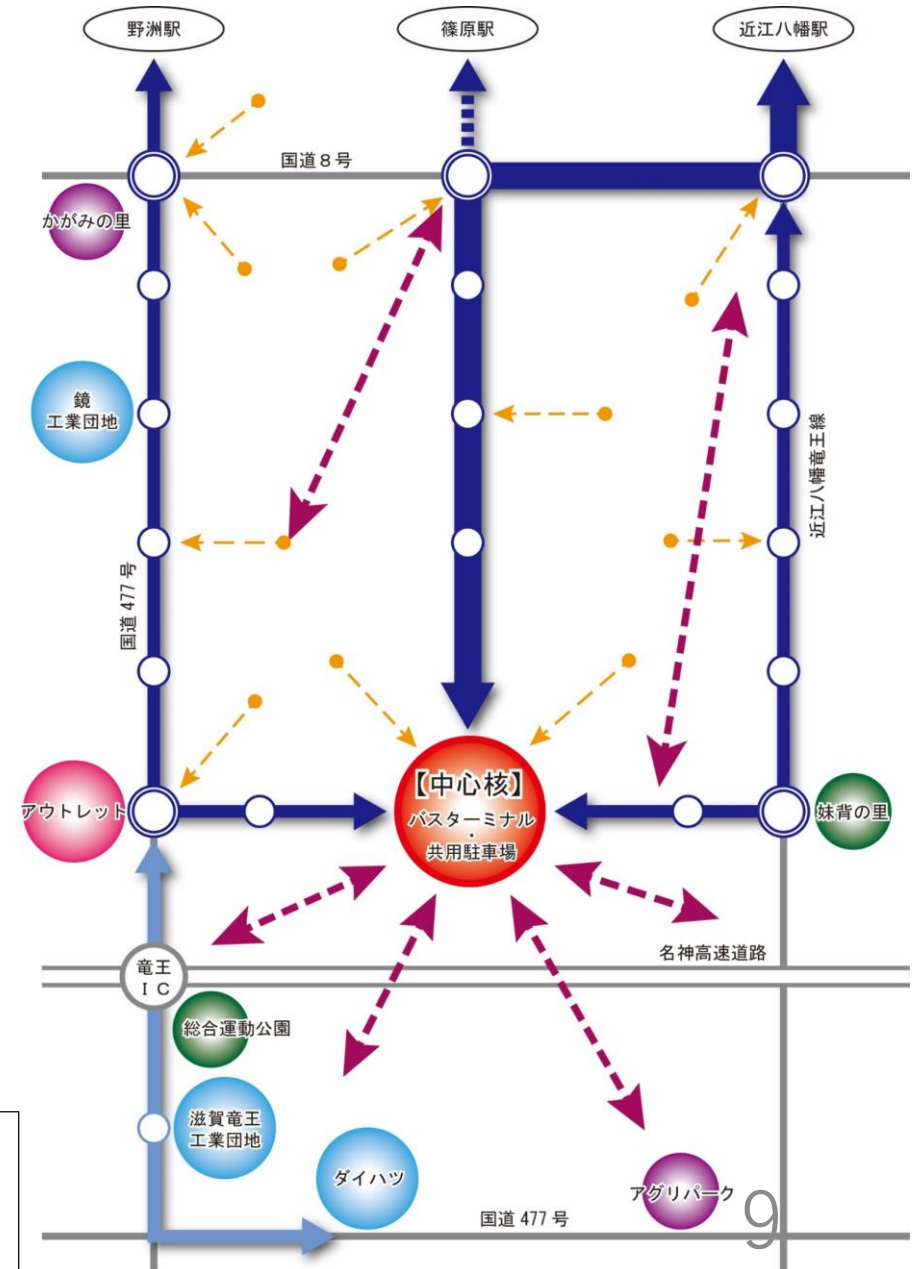
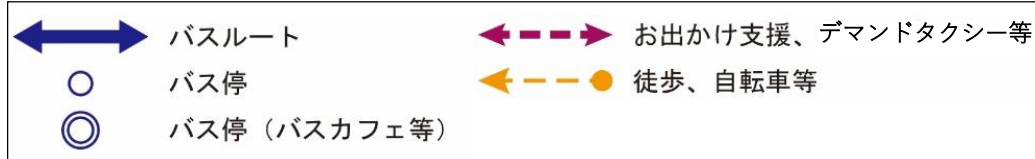
➤お出かけ支援の普及、支え合いマップ作り等

➤リフォーム補助、空き家利活用の仕組みづくり等

中心核と地域コミュニティのネットワークづくり

- 目標① 移動しやすい公共交通網の再編
- 目標② 中心核と地域を結ぶ道路の整備
- 目標③ 中心核と地域の情報ネットワークの整備

- 中心核や町内の主要施設（公共施設、医療施設、商業施設等）までの移動手段の確保
- 町外施設へ接続する路線バスの利便性向上
- 各地域から中心核へアクセスしやすい道路の整備
- 防災行政情報システムを活用した、情報の共有化



リーディングプロジェクト：交流・文教ゾーンの整備

教育施設(5校園+学校給食センター)

竜王幼稚園



築44年

竜王小学校



築48年

竜王中学校



築40年

竜王西幼稚園



築30年

竜王西小学校



築31年

学校給食センター



築39年 10

竜王小学校

- ・昭和46年 竣工
- ・平成元年 大規模改修
- ・平成10年 耐震改修、体育館改修
- ・平成22年 屋根防水工事
- ・平成24年 小規模改修工事



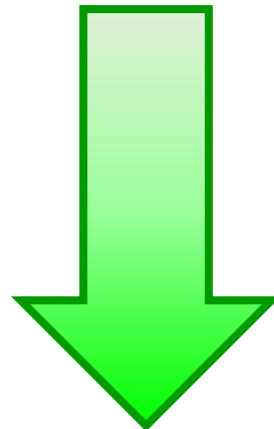
築48年

- 老朽化が進んでいる
- これからの時代の教育ニーズに対応できない
- 地域ニーズに対応できない(防災、コミュニティ活動)

教育施設の今後のあり方検討の経緯

H29 教育委員会内に「教育施設の今後のあり方検討PT」を設置

「教育施設の今後のあり方検討委員会」を設置

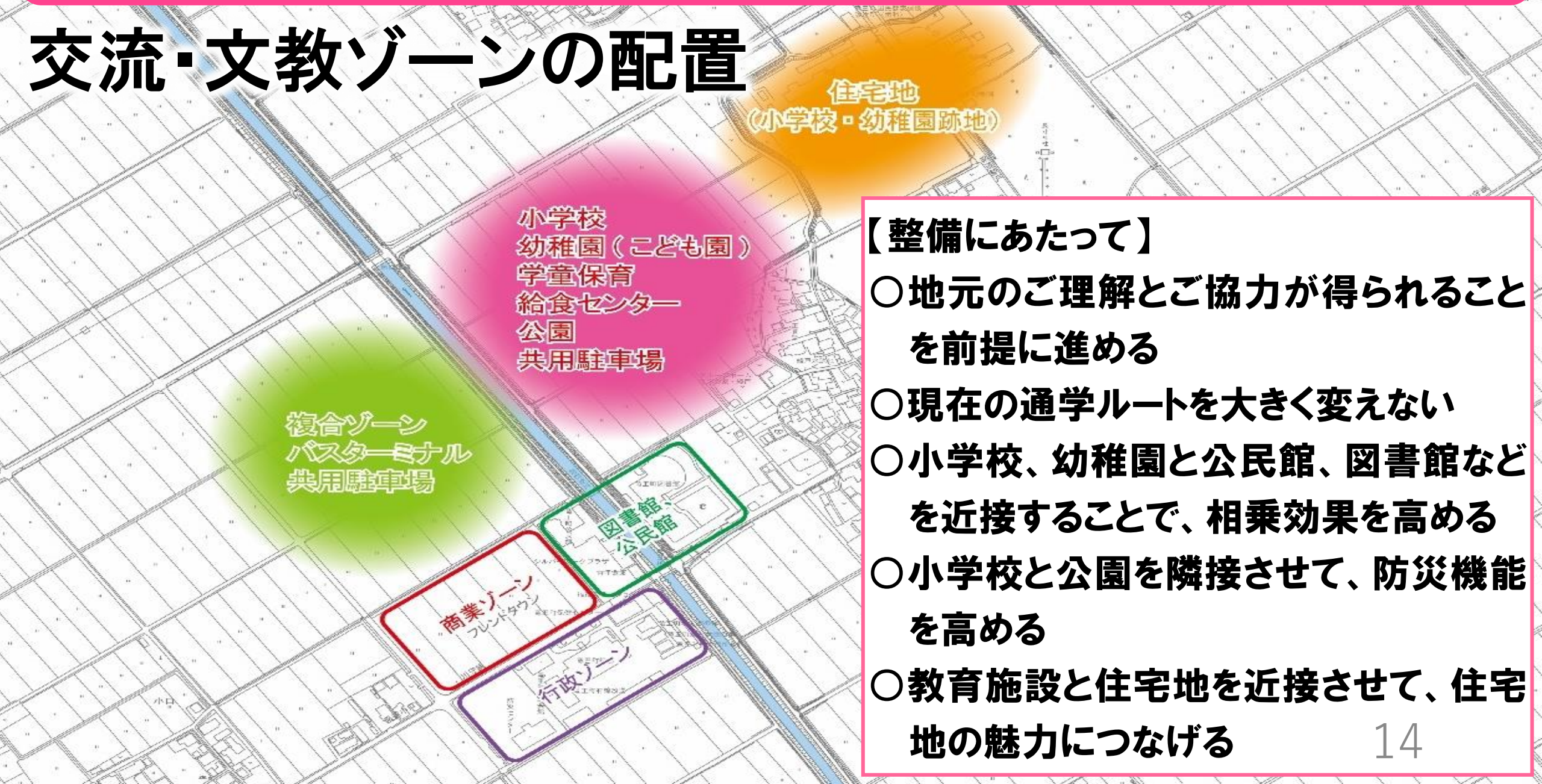


H31.2 「竜王町の教育施設の今後のあり方についての検討結果」を町長に報告

竜王小学校の今後のあり方

- ◆長寿命化改修ではなく、建て替えとする
- ◆当面は竜王西小学校との統合は考慮しない
(竜王西小学校については概ね10年後の大規模改修時に検討を行う)
- ◆防災・コミュニティ等の機能を併設した複合施設とし、他の教育施設の立地も想定しながら、学びと交流を生み出す
- ◆現在の場所では敷地拡大に制限があることから、公民館・図書館等との相乗効果を期待し、中心核で建て替え
- ◆2025年4月の開校をめざす

交流・文教ゾーンの配置



【整備にあたって】

- 地元のご理解とご協力が得られることを前提に進める
- 現在の通学ルートを大きく変えない
- 小学校、幼稚園と公民館、図書館などを近接することで、相乗効果を高める
- 小学校と公園を隣接させて、防災機能を高める
- 教育施設と住宅地を近接させて、住宅地の魅力につなげる

未来へ 竜王2050プロジェクト

～竜王の原風景に抱かれた安全でテクノロジーなまちづくり～

30年後のまちの理想の姿

各コミュニティ地域におけるコンパクトな土地利用形成

道の駅を活かした竜王ブランドの強化、竜王の魅力の情報発信



広域交通の利便性を活かした産業交流軸の形成、新たな開発や企業の誘致

近隣都市を結ぶ新たな道路整備

自然体験型レクリエーションエリア



まちの玄関口として賑わいの感じられるエリアづくり



新たな工場や研究開発機関等の誘致による、ものづくり産業の振興



【全体的な考え方】
 ◆中心核の活性化
 ◆集落や地域のバランスある発展
 ◆中心核と各集落や各拠点のネットワークづくり

地域力を活かした持続可能な自治組織、地域で支え合うコミュニティづくり、総合診療・在宅医療の充実 等



東西・南北に移動しやすい、中心核にアクセスしやすい道路網の整備

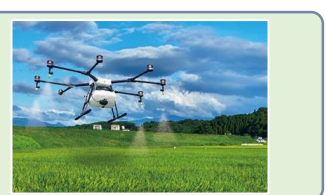
企業やバス事業者との連携による無人走行バスの運行



中心核への更なる都市機能の集約化、町の顔にふさわしい良好な町並み景観の形成、多様な交流の創出 等



AI・ICT技術を活かしたスマート農業、地域特性に応じた農業の展開、農業を活かした観光の推進



自動運転技術を活かした次世代自動車の開発など、新しい車社会への対応

各エリアにおける身近な生活サービスの維持・機能強化、自治組織の見直し